



9/14 人はなぜ、どろんこへ飛び込むのでしょうか？

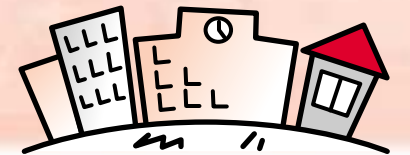
地域の輪を広げ、家族の和を育てようと、南部公民館北の田んぼで「どろんこまつり」が行われ、明祥中学校区の約300人が集まりました。綱引きやうなぎつかみなど泥まみれ必至の各種目に子どもも大人も果敢に挑戦。「なぜ、どろんこの中へ?」。その答えは、参加者の笑顔の中にあふれていました。



開園10周年を迎えた堀内公園で、9月28日と29日の2日間、記念イベントが開催されました。中でも、この日から運転を開始した電動汽車「メルヘン号」は行列ができるほどのにぎわいに。公園の新しいシンボルとして、出発の汽笛を鳴らしていました。



わがまち フォト グラフ



9/28 堀内公園が10周年！

9/21 クリーン&セーフティー作戦

道路にポイ捨てされた空き缶やごみを三河安城小学校児童と町内会ボランティアの皆さん約40人が清掃し、同時に秋の交通安全運動を実施しようという「クリーン&セーフティー作戦」が行われました。

参加者は、清掃作業の後、同校前の交差点にサイン板を掲げて交通安全を啓発。その懸命な姿が、ドライバーマナー向上に対する最大のアピールとなったことでしょう。



9/25 安城の“梨”で事故は“なし”

「もらった梨は家庭に届き、今夜の団らんで話題となるはず。そこで交通安全についての話し合いがされることがこの作戦の目的です」。

秋の交通安全運動の一つとして、安城市役所前交差点と庁舎玄関前で「事故なし」作戦がミス七夕、交通安全協会などの協力により行われ、安城の特産品である梨と啓発用品500個がドライバーや来庁者に配られました。

9/19 足で踏み踏み脱穀作業

昔の米作りについての理解を深めようと、高棚小学校の5・6年生89人が足踏み機やとうみによる脱穀を体験しました。作業は、高棚町老人クラブの皆さんが支援し、子どもたちにひとつひとつ丁寧に指導をしていました。

脱穀した米は、ポン菓子にし、全校児童に配ったり、一人暮らしのお年寄りや保育園などに持参したりすることで社会福祉や交流活動に役立てられます。



9/15 伝えます 私たちの三河万歳

三河万歳のゆかりの地である、榎前町と西別所町の敬老会で、丈山小学校の三河万歳クラブによる演技が披露されました。

今年は、NHKの「どんとこい民謡」、JAあいち中央の「納涼夏祭り」に続いて3度目の発表となりました。

子どもたちの熱演に敬老会の皆さんも大満足の様子でした。

